

輸出事業計画

※申請者名：石巻食品輸出振興協議会

品目：水産加工品・鮮魚

1. 輸出における現状と課題

【現 状】

石巻では、平成23年の東日本大震災で失った販路に代わる新たな販売先として、日本有数の水産資源、熟練の技術と最先端の設備を強みに、地域一体での海外販路の開拓へと取り組んできた。令和2年以降は地域の優位性と市場の有望性からアメリカを主たる対象国と定め、市場調査及びニーズの把握、市場ニーズに応える産地体制づくり、効果的な商流及び物流の構築に取り組んでいる。

【課 題】

1. 産地ポテンシャルー産地事業者ーマーケットニーズが繋がっていない。
2. マーケットニーズを吸い上げる仕組みができていない。
3. 産地(石巻)自体が認知されていない。ブランドの構築が必要である。
4. 米国食品安全計画などの輸入規制に対応できる生産・業務体制が数社しか整備されていない。

2. 輸出事業計画の取組内容

【取 組】

1. 令和2年度から当協議会の事務局サポートとして、石巻の水産地域商社である株式会社フィッシャーマン・ジャパン・マーケティング（以下、FJM）に輸出事業の企画、運営等に関する委託を開始している。産地における事業者間の連携を補完・強化し、アメリカにおける多様なニーズに対して応えていける産地体制を構築する。
2. 令和4年1月より、輸出先国に販路を有する グローバル・オーシャン・ワークスグループ（以下、GOWグループ）と連携を開始した。同グループの鹿児島本社及びロサンゼルスメンバーと相互に訪問・交流を行い、マーケットニーズの吸い上げを行う。
3. 石巻の水産業に精通し、かつアメリカ市場に知見を有する専門家を起用。専門家と共に現地マーケット調査を行い、ブランディングに係る専門的な視点からの支援・助言を受けながら産地ブランドを構築する。その成果を ウェブサイトやパッケージ等へ展開する。
4. これらの規制に精通した合同会社グローバリューションに業務委託し、FSMA・HACCP等の食品衛生規制に係る勉強会の実施、水産加工場の現場監査、輸出実務に係る書類作成の支援等を通じて、アメリカ向け輸出が可能な産地事業者を増やす。

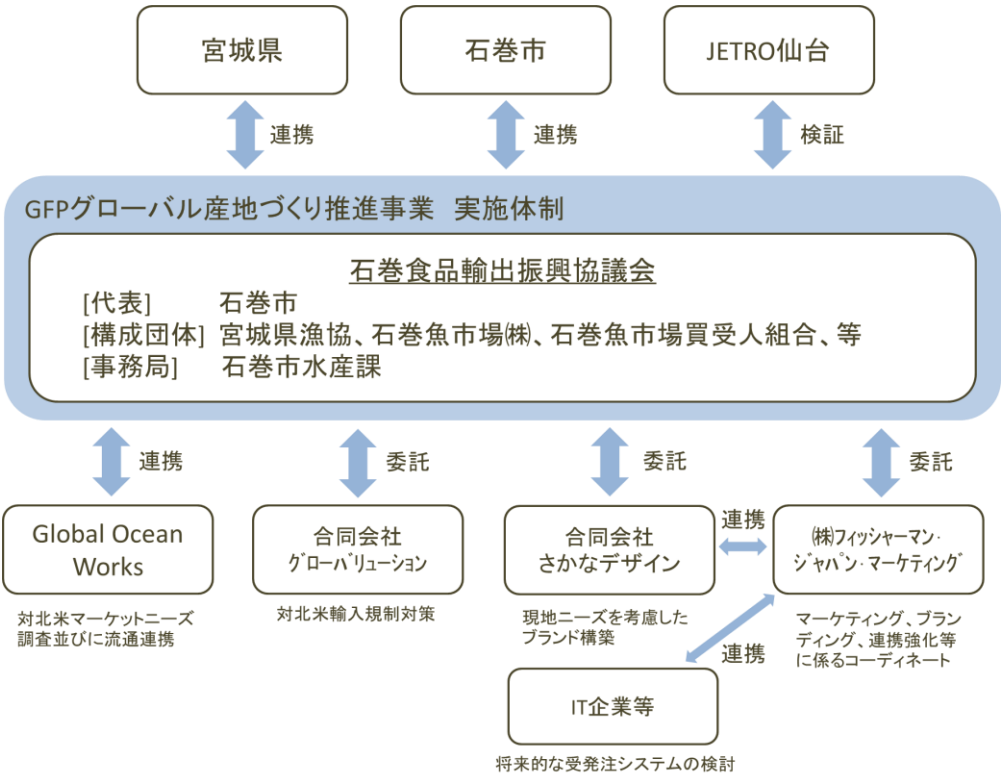
輸出事業計画

※申請者名：石巻食品輸出振興協議会

品目：水産加工品・鮮魚

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制

GFPグローバル産地づくり推進事業の目的達成に向けて、以下体制で事業に取り組む。



4. 輸出目標額

		現状 (令和4年度)	目標年 (令和7年度)	備考
石巻地区	輸出額(千円)	13,074	114,000	
	輸出量(kg)	10,000	114,000	
	輸出先国	アメリカ	アメリカ	
	生産量(kg)	66,560,000	66,560,000	